

平成 25 年 4 月 19 日

各位

会社名	富士機械製造株式会社
代表者名	代表取締役社長 曾我 信之
問合せ先	ハイテック事業本部営業技術部部长 今井 美津男
電話	(0566) 81-8263

### 新製品発表に関するお知らせ

富士機械製造株式会社は、AIMEX のコンセプトを継承し、柔軟性、拡張性をさらに高めた、試作から多品種少量・量産まで対応可能な実装システム、拡張型オールインワン装着機「AIMEX II」を開発しました。

進展著しいエレクトロニクス製品の高性能化を支える電子基板の組み立てに、幅広く利用されている表面実装技術において、その中心的組立装置が、電子部品装着機（マウンター）です。基板組み立て現場では、市場における需要変化に対応した生産システムとして多品種少量生産、変種変量生産への要求が強まっています。

「AIMEX II」は、そのひとつとして期待される製品です。

### 製品の特長

#### (1) 豊富な部品搭載数

より多くの部品種への対応が求められる多品種生産において、最大 180 種のテープ部品を搭載でき、テープのほかスティックやトレイ供給の部品にも様々な供給ユニットの交換によって柔軟に対応します。

#### (2) 選択可能なロボット構成

生産形態・生産規模の変化に合わせて、部品搭載ヘッド種のみならずロボット数を選択することができます。(最大 4 ロボット)。

#### (3) NPI\*生産を効率的にサポート

多品種少量生産における課題の 1 つである新機種生産開始時の準備時間削減のための取り組みとして、機上 ASG(Auto Shape Generator)機能を標準搭載しています。画像処理エラーが発生した際に、実際の取り込み画像を基に、自動で画像処理データを再作成するため、生産機種切り替え時の段取り替え作業を低減します。

\*NPI: New Product Introduction

#### (4) デュアルレーン独立生産

ダブルコンベアを使用して、異種基板のデュアルレーン独立生産に対応します。これにより、片側レーン生産中に片側レーンの段取り替えが可能となり、1 ラインの装置でありながら、2 ライン相当の運用が実現できます。

- (5) 小型基板から大型基板まで対応  
最小 48mm x 48mm サイズの小型基板から、最大 759mm x 686mm サイズの大型基板まで対応できます。携帯、デジカメ等の小型基板から、ネットワーク基板、タブレット PC などの中型基板、LED 長尺基板や LCD-TV 基板なども効率よく生産できます。
- (6) フィーダー一括交換台車 (MFU)  
テープフィーダ搭載ユニットは一括交換台車を採用しています。オフライン電源供給ユニット (オプション) と組み合わせることで、機外にてフィーダにセットされたテープの一括自動巻き戻しが行えるなど、外段取り替え作業の自動化・省人化に寄与します。
- (7) 前後デバイスにトレイユニット搭載可能  
トレイ部品を供給するトレイユニットを、装置の前側・後側を問わず搭載することができます。FUJI 独自のマガジン構造を採用しており、トレイ部品の無停止供給が可能です。これにより、生産中のトレイ部品切れによる装置停止時間を低減することができます。
- (8) 部品高さ 38.1mm 対応  
異形部品対応 OF ヘッドを使用することで、最大部品高さ 38.1mm に対応。車載基板やマザーボード等に広く使用される大型リレー、LAN コネクタなども部品供給ユニットのみ交換すれば、本機を改造することなく、最大 38.1mm の背高部品に対応できます。
- (9) スループットの向上  
V12 ヘッド仕様時に V-Advance (デバイス前進機構) を選択すると、吸着位置から装着位置までの距離が短縮され、さらにスループットを向上することができます。

「AIMEX II」は、ヘッド及び段取り替え部品 (デバイス関係、供給ユニット、カメラ関係、その他オプションユニット) を NXT シリーズと共通にしました。NXT 同様に生産形態に合わせた装置構成を構築することが可能であり、NXT のフレキシブル性を継承しました。

また「AIMEX IIS」との連結により部品搭載数が増加し、さらにロボット数の選択の幅が広がるため変種変量生産に対応したラインの構築が可能となります。

「AIMEX II」は、初年度 100 台、次年度 150 台の出荷を目指し、国内定価は 3,500 万円より 2013 年 5 月から受注開始します。